

ウェブによる市民からの Disaster Information from Citizens 震災情報の発信

データの検証
現状認識

一時避難場所から避難場所まで、
歩いて移動するには
困難な人がいる
5km離れているところがある。

区・自治会
避難所は **246カ所** あるが
病院、消防除くと **600人**
職員数1,000人
程度
全てを行政がカバーは
してくれない

見えてきたこと
気づき

市民から本当に必要な
「助けて」を発信しよう。

優先的に助ける必要がある人を
知る仕組みが必要。

改善イメージ
解決策

災害発生

速やかに近くの
区・自治会避難所に
(一時避難所)
避難してください。



Step 1
防災メール



…しばらくして

- ①今どの区・自治会避難所 (一時避難所) にいますか?
- ②現在お近くに何人いますか?
- ③近くの避難所に歩いていくのが 困難な方はいますか? 何人いますか?



Step 2
防災メール



Step 3
回答メール

- ①〇〇です。
- ②15人います。
- ③2人難しいです。

フィードバックをもらうことで「メールでの情報発信が有効でない地域」「助けを求める人が多い地域」などが分かり、あらかじめ備えることが可能になります。

導入に向けて

災害時にメールが届かないと問題なので携帯会社と行政が協定を結び、電波が届かないエリアを把握する。

(情報が届かなくなっている可能性があるのが重点的にケア)

システム稼働までの流れ

Code for Kobeで
サンプル作成。

職員向けに
試してもらい
稼働を確認。

防災訓練の際にメール送信。
回答の練習をもらう。